# 新晃工業株式会社

（証券コード6458　東証プライム）

2027年3月期

# 第2四半期決算補足説明資料

2026年 11月 12日

# 目次

I.　2027年3月期　第2四半期決算実績　　P.2～

II.　2027年3月期　業績予想　　P.13～
（2026年5月14日公表予想から修正なし）

Appendix　　P.17～


Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

空気をデザインする会社
SINKO

# Ⅰ．2027年3月期　第2四半期決算実績

# 決算サマリー

空気をデザインする会社
SINKO

## 2Q 連結業績

**売上高258億円**（前年同期比△0.3%）・**営業利益32.8億円**（前年同期比△8.2%）

### 日本セグメント

| | | |
|---|---|---|
| 売上高 | 234億円<br>（前年同期比+4.2%） | ・高水準の受注残高を背景に、7-9月の空調機器出荷ペースが回復<br>・工事・サービス等、グループ事業も堅調に推移 |
| 営業利益 | 35.8億円<br>（前年同期比+1.5%） | ・人件費・物流費など販管費が期初から増加する一方、増収による増益と製品・サービスの付加価値向上によりコスト上昇を吸収 |

### アジアセグメント

| | | |
|---|---|---|
| 売上高 | 24.0億円<br>（前年同期比△29.9%） | ・中国における不動産市場停滞の影響が続くなか、空調機器の販売が低調に推移 |
| 営業利益 | △3.1億円<br>（前年同期は営業利益0.3億円） | ・減収に伴う減益に加え、価格重視の厳しい事業環境により営業損失で着地 |

## 株主還元

**中間配当は、期初計画どおり（1株あたり20円）を予定**

## 今後の見通し

**第3四半期以降は機器出荷が加速。収益向上施策に注力し、中計最終目標達成を目指す**

- 国内の空調機器販売や工事・サービスの好調な実績により、上期の売上・利益は計画対比で上振れ着地
- 下期は機器出荷のピークを迎え、受注残の消化が進むことで収益性向上を見込む。中計ターゲット市場での実績拡大や価格転嫁によるコスト吸収を並行して進め、中計最終目標達成に向けた取り組みを着実に継続する
- 中国事業では、期末に向けて販売促進による利益確保や、日本向け一部製品の生産を強化し、損失縮小に努める


Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

# 連結損益計算書

空気をデザインする会社
SINKO

（単位：百万円、％）

| | 2026年3月期 第2四半期 | | 2027年3月期 第2四半期 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 前年同期比 | |
| | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 25,878 | 100.0 | 25,805 | 100.0 | △73 | △0.3 |
| 日本 | 22,490 | 86.9 | 23,440 | 90.8 | 950 | 4.2 |
| アジア | 3,423 | 13.2 | 2,400 | 9.3 | △1,023 | △29.9 |
| 売上総利益 | 9,604 | 37.1 | 9,925 | 38.5 | 321 | 3.3 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,028 | 23.3 | 6,643 | 25.7 | 615 | 10.2 |
| 営業利益 | 3,576 | 13.8 | 3,281 | 12.7 | △295 | △8.2 |
| 日本 | 3,530 | 13.6 | 3,585 | 13.9 | 55 | 1.5 |
| アジア | 32 | 0.1 | △316 | △1.2 | △348 | — |
| 経常利益 | 3,883 | 15.0 | 3,756 | 14.6 | △127 | △3.3 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 2,611 | 10.1 | 2,608 | 10.1 | △3 | △0.1 |
| 1株当たり中間純利益（円） | 37.67 | — | 38.83 | — | — | — |


Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

# 上期の収益分析

空気をデザインする会社 SINKO

■ 国内空調機器販売の出荷増や工事・サービスの伸長、工場稼働率の改善に伴う生産効率向上により、第2四半期だけで見た利益水準は前年比で上昇(①)

■ 上期の業績予想に対しても、売上高は+8億円、営業利益は+4.8億円の上振れで着地(②)。一方、期初からの販管費上昇に対し、第1四半期が減益となった影響が残り、上期の営業利益率は前年比で低下(③)

（単位：百万円）

| | | 上期 | | | | | 下期 | 通期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第1四半期 | 第2四半期 | 上期計 | 期首予想 | 予実差 | 予想 | 予想 |
| 2026年3月期 | 売上高 | 12,227 | 13,651 | 25,878 | — | — | — | — |
| | 売上総利益 | 4,627 | 4,977 | 9,604 | — | — | — | — |
| | 売上総利益率 | 37.8% | 36.5% | 37.1% | — | — | — | — |
| | 営業利益 | 1,657 | 1,919 | 3,576 | — | — | — | — |
| | 営業利益率 | 13.6% | 14.1% | 13.8% | — | — | — | — |
| 2027年3月期 | 売上高 | 11,445 | 14,360 | 25,805 | 25,000 | 805 | 37,195 | 63,000 |
| | 売上総利益 | 4,425 | 5,500 | 9,925 | — | — | — | — |
| | 売上総利益率 | 38.7% | 38.3% | 38.5% | — | — | — | — |
| | 営業利益 | 1,175 | 2,106 | 3,281 | 2,800 | 481 | 6,719 | 10,000 |
| | 営業利益率 | 10.3% | 14.7% | 12.7% | 11.2% | 1.5pt | 18.1% | 15.9% |
| 増減額 増減率 | 売上高 | △782<br>△6.4% | 709<br>5.2% | △73<br>△0.3% | — | — | — | — |
| | 売上総利益 | △202<br>△4.4% | 523<br>10.5% | 321<br>3.3% | — | — | — | — |
| | 営業利益 | △482<br>△29.1% | 187<br>9.7% | △295<br>△8.2% | — | — | — | — |


Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

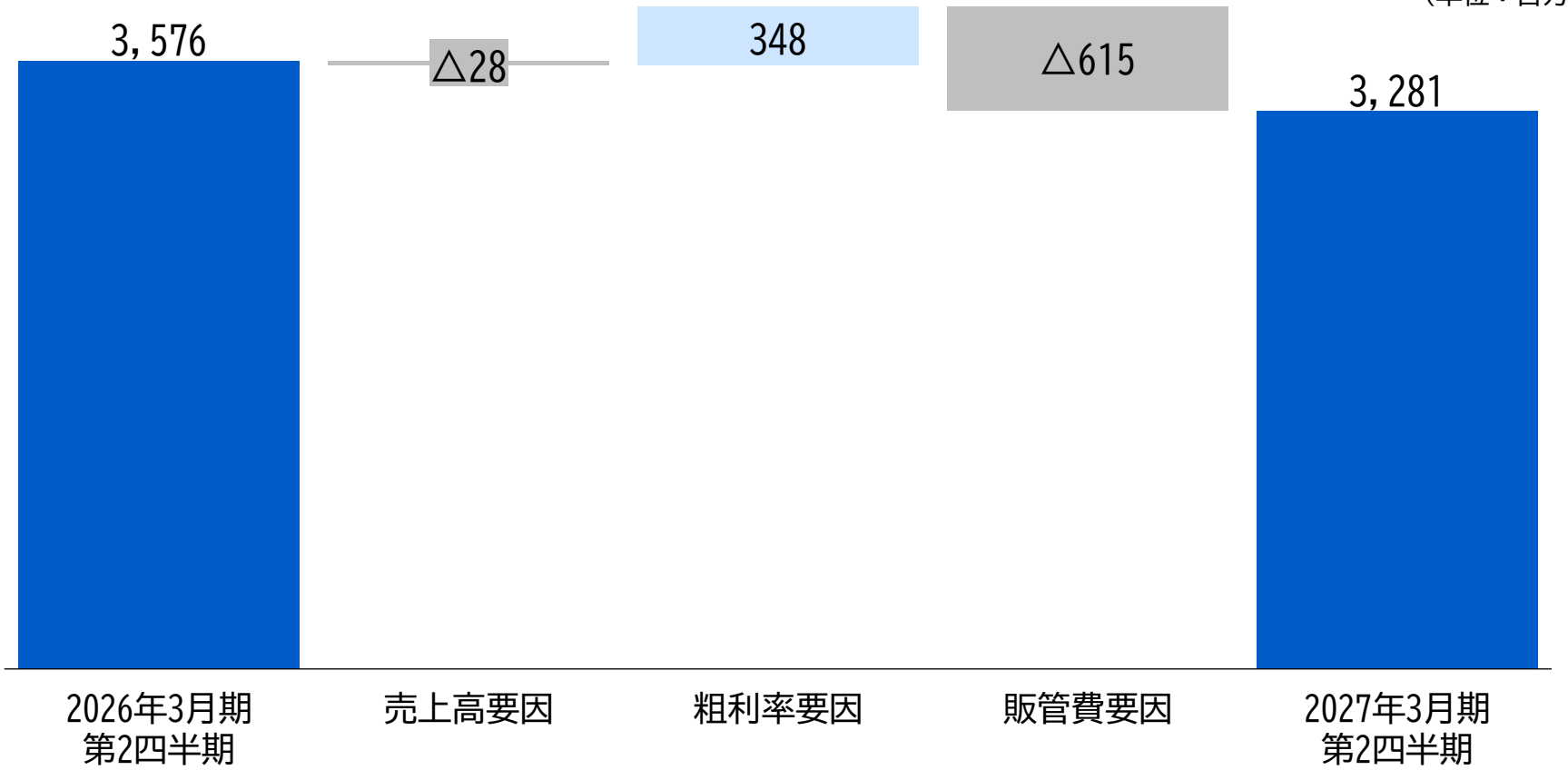
# 営業利益増減要因

空気をデザインする会社
SINKO

## 足元では販管費上昇が先行するが、下期の増収による利益確保で改善を図る

■ 収益性の高い国内空調機器販売と工事・サービスが好調に推移した一方、アジアセグメントの減収に伴い、グループ各事業の売上構成比が変化。結果として、連結全体の粗利率は前年同期比で上昇

（単位：百万円）



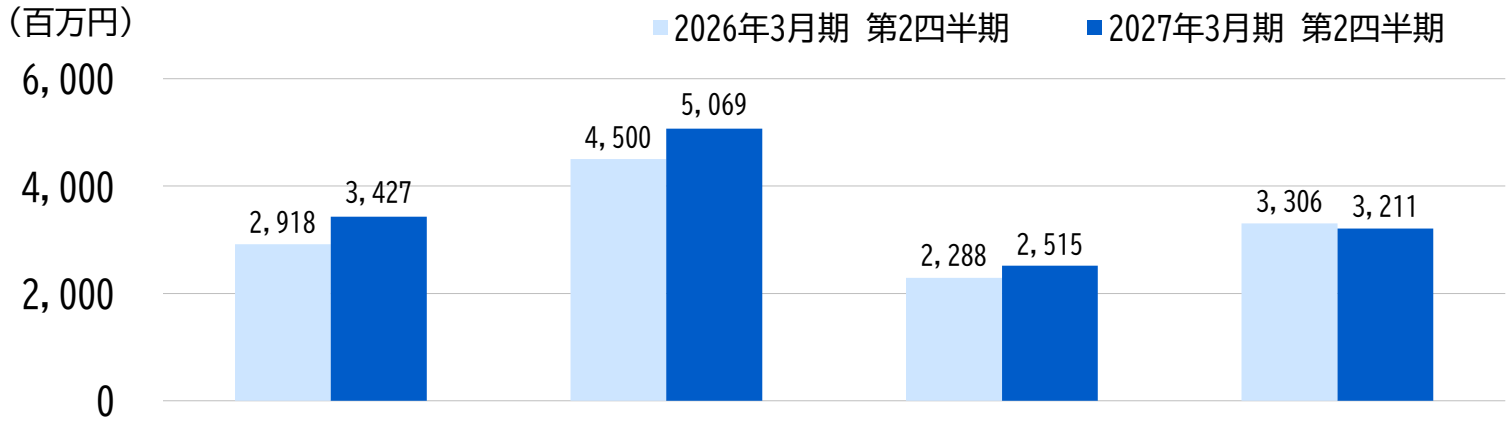


Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

# 建築用途別 売上動向（新晃工業単体）

空気をデザインする会社 SINKO

## 7-9月の機器出荷ペース加速により、データセンター含む主要3分野の売上は前年同期比で増加




| | | 大型ビル | 産業 | データセンター | その他（※2） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2026/3期 2Q | 売上高（※1） | 2,918 | 4,500 | 2,288 | 3,306 | 13,012 |
| 2027/3期 2Q | 売上高（※1） | 3,427 | 5,069 | 2,515 | 3,211 | 14,223 |
| 前年同期比 | 増減額 | 510 | 569 | 227 | △95 | 1,211 |
| | 増減率 | 17.5% | 12.6% | 9.9% | △2.9% | 9.3% |

※1 新晃工業単体における、日本国内向け売上高　　※2 その他の建築用途には医療福祉、文教、宿泊、駅・空港などを含む

- 大型ビル分野では、再開発案件や改修工事向けなどの需要により、前年同期比で売上増加。足元の受注残は、当期の下期～来期に納入予定の案件を中心に、2029年頃までに見込まれる大型案件の獲得も進む
- 産業分野では、新築の製造拠点向けなどの納入に加え、新製品である暑熱対策空調機の販売開始により、前年同期比で売上増加。一方、建設費の高騰や中東情勢の緊迫化などが国内の産業投資に与える影響は不透明であり、今後の市場動向を注視していく
- データセンター分野では、第2四半期3ヶ月（7-9月）の出荷増により、前年同期比で売上増加に転じる。下期にかけてはさらに出荷が進み、通期では前期比＋50%の売上増を見込む
- その他は病院やホテル、公共施設など比較的規模の大きい案件で出荷が進んだものの、前年同期比では売上微減


Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

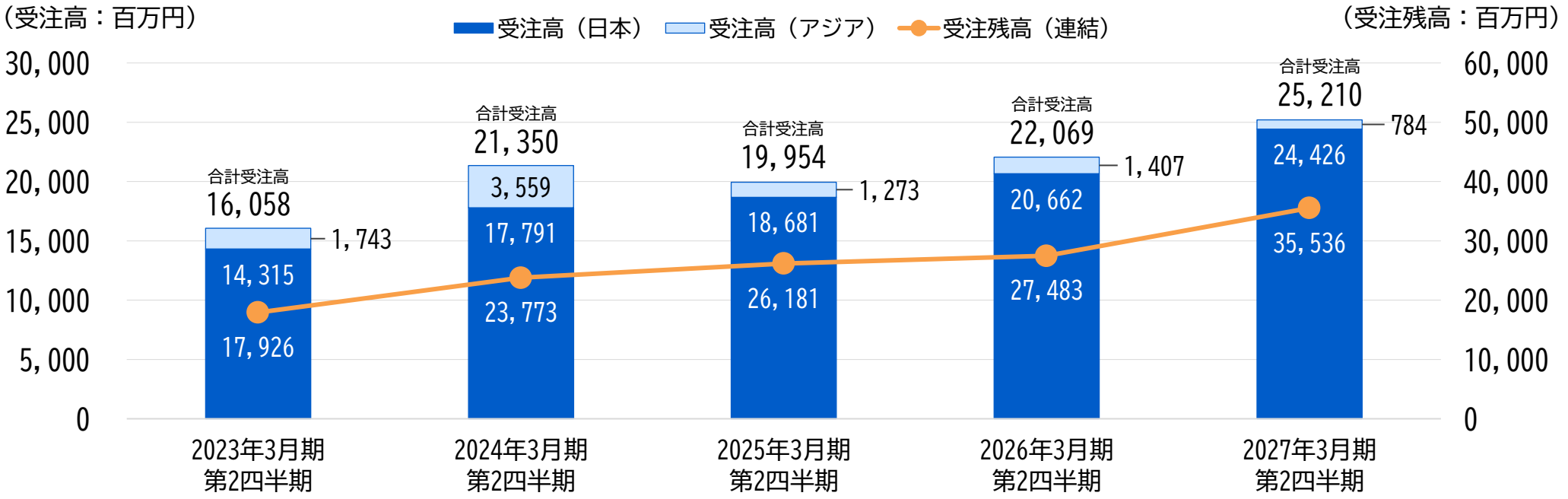
# 受注高・受注残高の推移

空気をデザインする会社
SINKO

## データセンター含むターゲット市場攻略により、グループの受注はさらに拡大

■ 当期より、日本セグメントの受注に、グループ会社の日本ビー・エー・シー(株)の実績を含むよう集計対象を変更
（過去事業年度の受注についても、さかのぼって同社の実績を追加）

■ 建設業における働き方改革や建設費高騰の影響を受けた早期発注の流れは残るが、足元の売上に寄与する案件受注と中長期の物量確保のバランスを意識した営業施策に取り組む




※2027年3月期より、日本ビー・エー・シー株式会社の受注高・受注残高を日本セグメントに含むよう集計対象を変更

※各セグメントにおける受注高・受注残高の集計対象は以下のとおり

日本セグメント：空調機器製造・販売事業のうち、新晃工業（AHU・FCU等）および日本ビー・エー・シー（冷却塔・氷蓄熱装置）の受注
（国内グループ会社の工事・サービス等受注は含まず）

アジアセグメント：中国現地法人である上海新晃空調設備股份有限公司におけるAHU販売の受注（FCU等の機器販売および設備工事等の受注は含まず）


Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

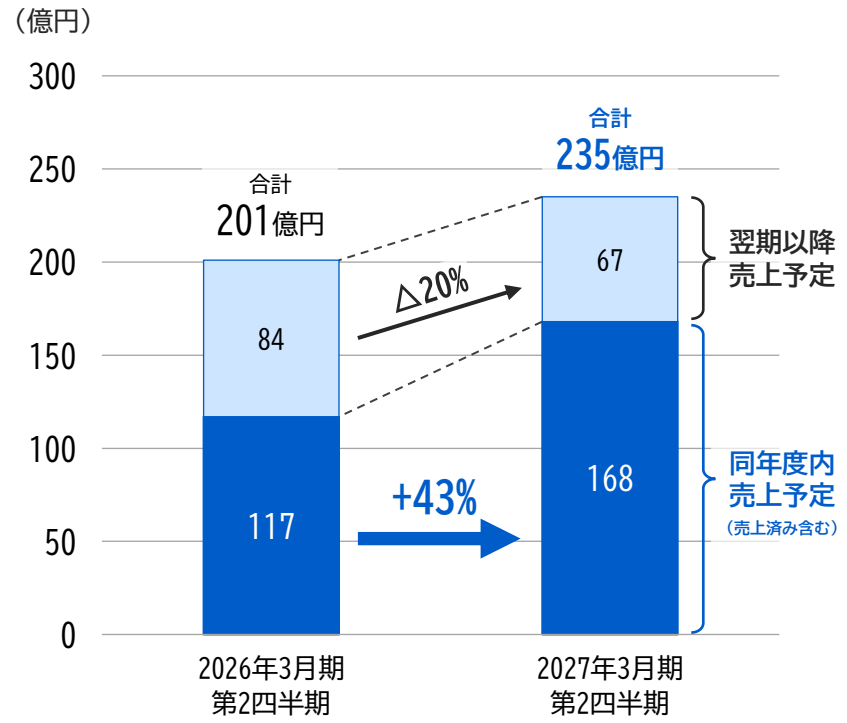
# （ご参考）当第2四半期の国内受注状況

空気をデザインする会社
SINKO

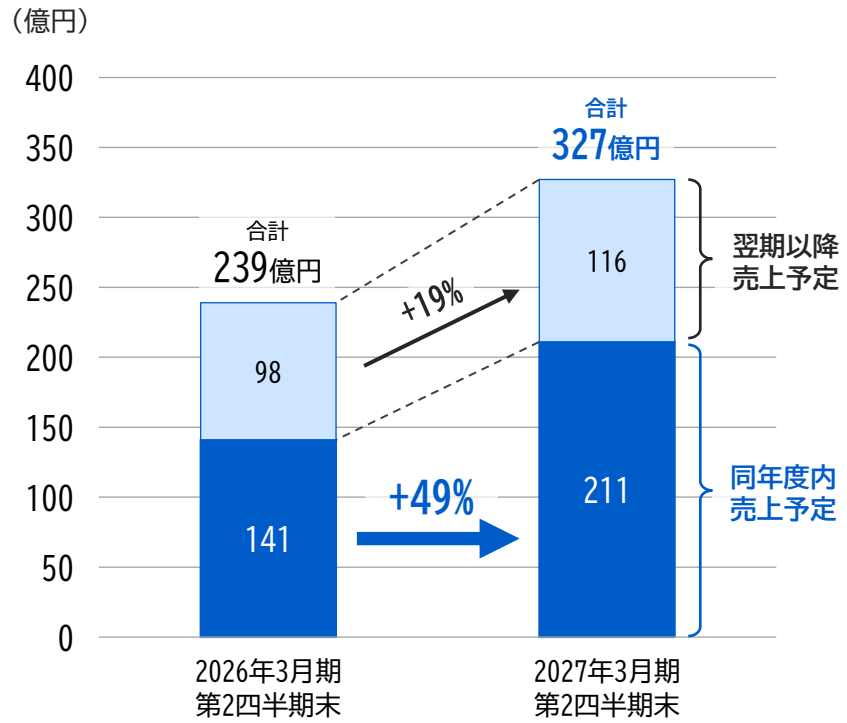
## 積極的な受注戦略により当期の販売量は十分。今後の営業活動は、来期以降納入の案件獲得にシフト

- 上期は国内の産業施設向けが受注をけん引するとともに、2029年ごろまでに出荷が見込まれる大型ビル案件も伸長
- 国内データセンターの受注実績も足元では堅調に推移。短期的には、工事能力の制約などによる需要の波も想定されるものの、中長期では高水準の投資が続くと見込まれる

### 受注高（新晃工業単体）




### 受注残高（新晃工業単体）





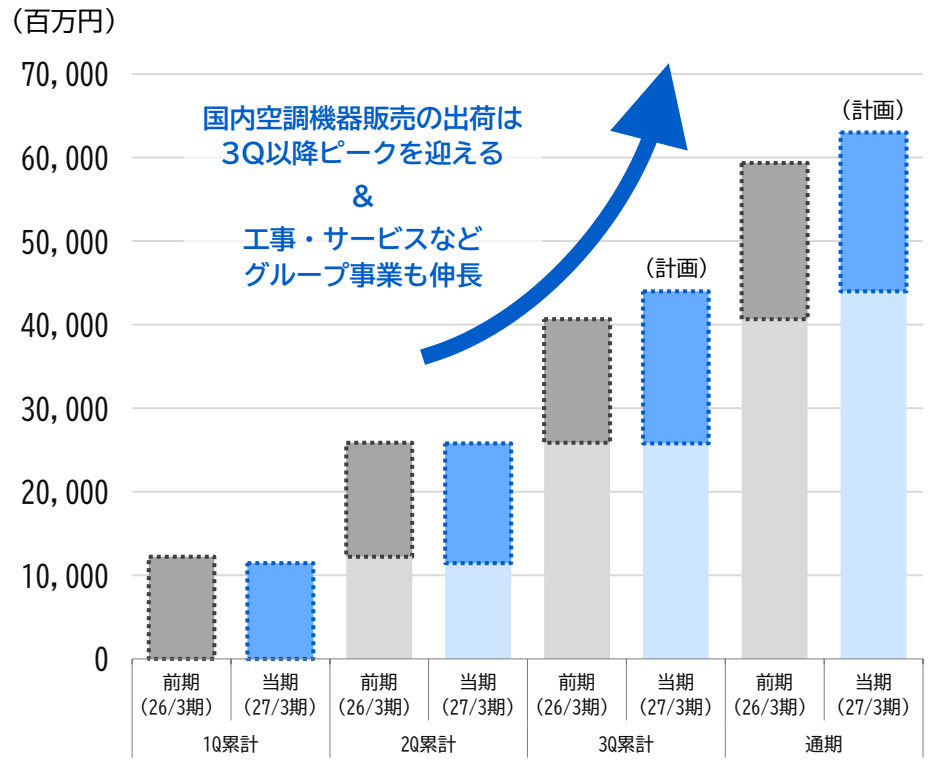
Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

# （ご参考）期末に向けての業績推移見通し

空気をデザインする会社
SINKO

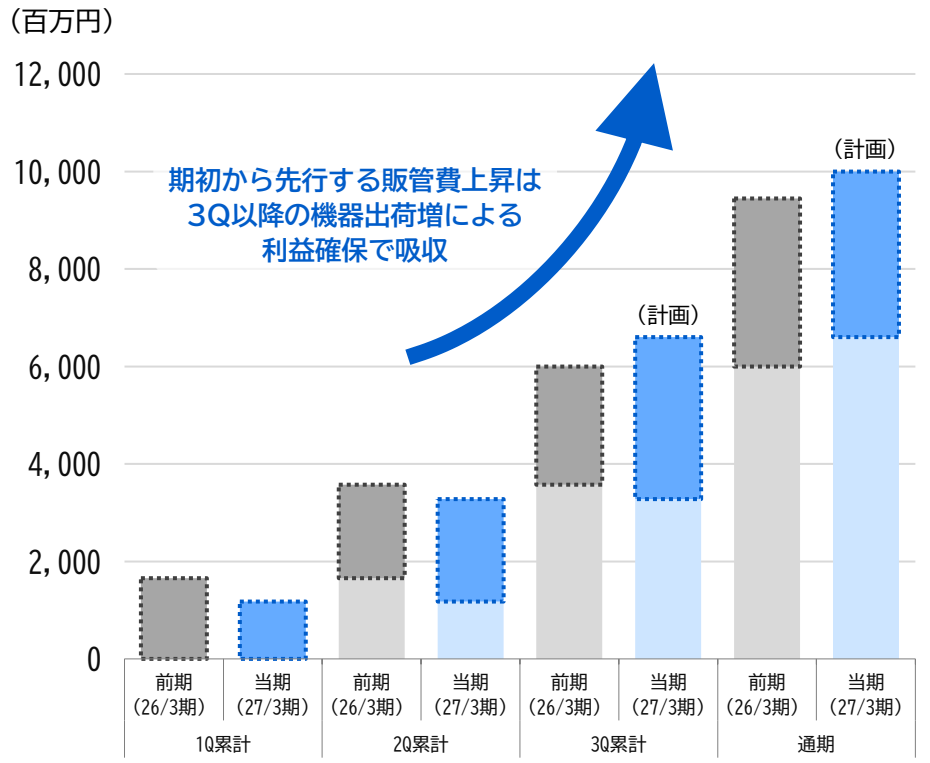
- 上期の連結業績は前年同期比で減収減益となったものの、国内空調機器販売および工事・サービス事業が好調に推移したことで、期初計画に対しては売上・営業利益ともに上振れ着地
- 前期は国内空調機器販売の出荷減少により下期の伸びが鈍化したが、当期業績は期初計画どおり下期偏重で積み上がる見通し。通期計画および中計最終目標達成を見据えている

## 連結売上高の推移見通し（前年対比）




※点線の囲み部分は前四半期累計期間以降の3ヶ月間の増加分を示す

## 連結営業利益の推移見通し（前年対比）




※点線の囲み部分は前四半期累計期間以降の3ヶ月間の増加分を示す

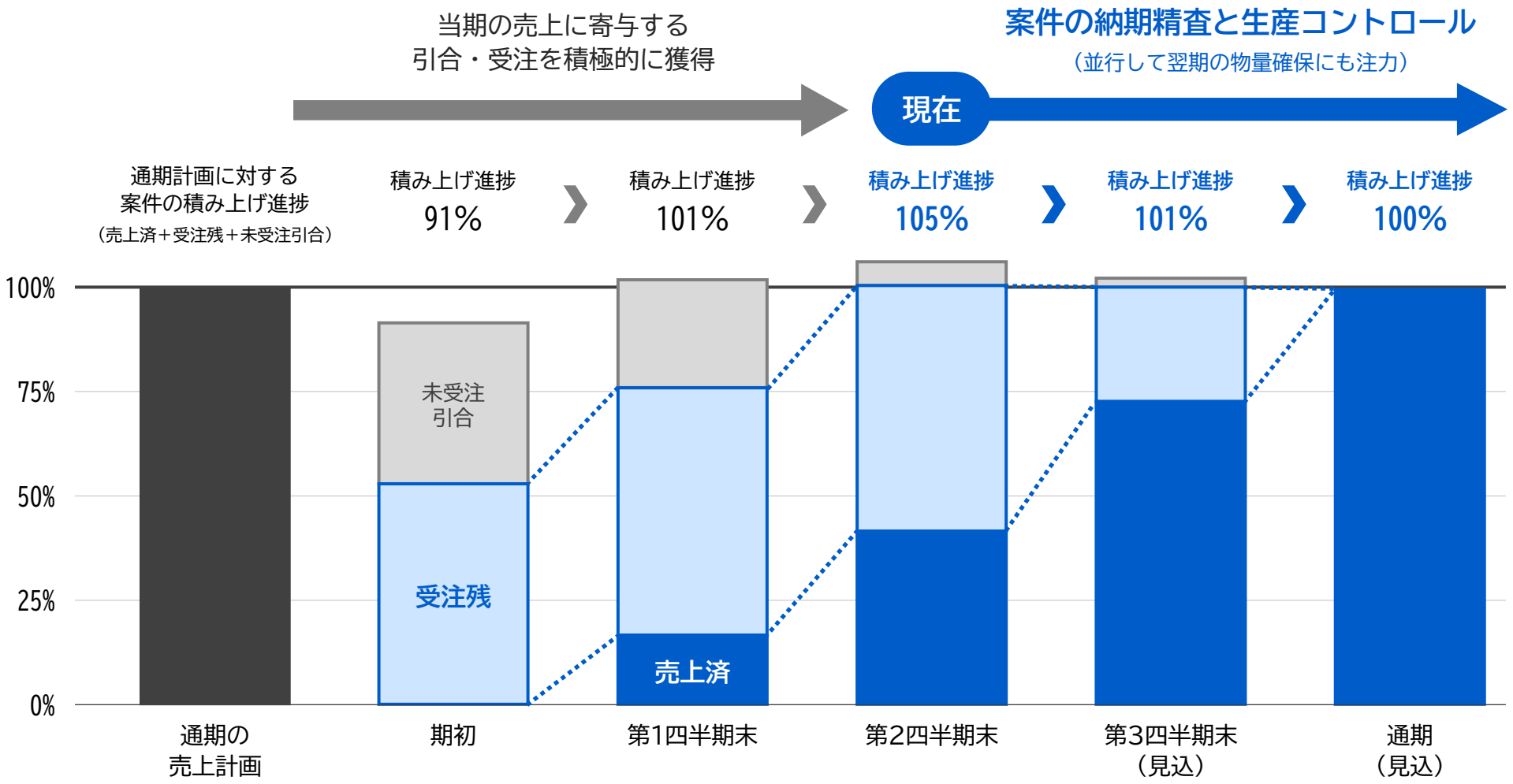

Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

# （ご参考）当期の売上・受注の積み上げ進捗（新晃工業単体）

空気をデザインする会社 SINKO

## 第2四半期末現在、通期の計画達成に必要な空調機器販売の物量は充足（売上済＋受注残）

※下図は【当期中に納入予定】の案件のみの積み上げイメージを示す





Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

# （ご参考）中計ターゲット市場攻略に向けた注力施策

空気をデザインする会社 SINKO

■ 中計ターゲット市場である【データセンター】【個別空調】【空調設備工事・メンテナンス】は、中計策定当初の計画を超えるペースで実績が拡大中。これらのドライバーによる成長を加速させるため、新たな投資計画にも着手

## データセンター

**長期収益計画「スマイル計画※」の見通しを500億円⇒800億円へ引き上げ**

※スマイル計画：スマイルカーブ理論に基づき当社グループのバリューチェーンを構築し、データセンター分野での安定的な収益を創出する計画の社内呼称

- 展示施設活用など営業施策により、2023～32年度の10年間で目標とするグループ累計売上は、500億円から800億円まで膨らむ見通し（「スマイル500」⇒「スマイル800」に上方修正）



## 個別空調

**暑熱対策製品の上市により、通期の売上見込みは60億円（前期比+70%）に迫る**

- 空調未導入の中小工場や学校体育館などで、熱中症対策の需要が高まる
- 暑熱対策製品をキーデバイスとして、中小規模建物の空調需要を着実に獲得し、実績を拡大



## 空調設備工事・メンテナンス

**人手不足の課題解決に向けて訓練施設の新設を計画**

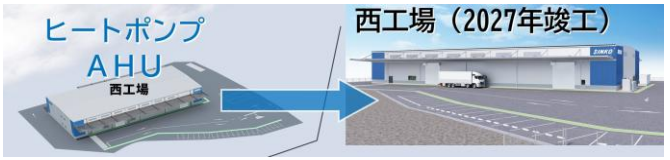
- 工事・サービス事業は高収益と高成長が見込める一方、今後の事業拡大に向けては人財確保が課題
- 持続的な技術者育成を可能にする自社訓練施設「（仮称）SINKOアカデミー」の新設を計画中




## 生産能力増強

**データセンター・個別空調の拡販を支える新たな生産基盤を拡充**

- データセンター・個別空調 両分野の販売量増加に対応するため、専用工場を当社岡山工場内に新設（2027年6月ごろより稼働開始予定）





Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

# Ⅱ. 2027年3月期　業績予想

（2026年5月14日公表予想から修正なし）

# 連結損益計算書

空気をデザインする会社 SINKO

■ 2027年3月期の連結業績は売上高630億円（前期比+6.2%）、営業利益100億円（前期比+5.9%）を予想
■ 中計最終目標（売上高600億円・営業利益100億円）達成・資本コスト経営実現に向けた取り組みを着実に実行する

（単位：百万円、%）

| | 2026年3月期 | | 2027年3月期 予想 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 前期比 増減額 | 前期比 増減率 |
| 売上高 | 59,339 | 100.0 | 63,000 | 100.0 | 3,661 | 6.2 |
| 日本 | 51,332 | 86.5 | 56,000 | 88.9 | 4,668 | 9.1 |
| アジア | 8,092 | 13.6 | 7,000 | 11.1 | △1,092 | △13.5 |
| 営業利益 | 9,444 | 15.9 | 10,000 | 15.9 | 556 | 5.9 |
| 経常利益 | 10,061 | 17.0 | 10,600 | 16.8 | 539 | 5.3 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 6,826 | 11.5 | 7,200 | 11.4 | 374 | 5.5 |
| 1株当たり当期純利益（円） | 99.59 | — | 107.23 | — | — | — |
| 投資金額 | 6,590 | — | 4,000 | — | △2,590 | △39.3 |
| 減価償却費 | 1,838 | — | 2,300 | — | 462 | 25.1 |

■ 国内の空調設備への投資は堅調に推移すると見られる一方で、建設業の働き方改革や建設費の高騰、さらには国際的な通商政策や中東情勢の影響が懸念され、今後の国内建設市場の動向は慎重な見極めが必要
■ 中計最終目標達成のためのセールス強化、および長期ビジョン実現に向けた事業変革を進め、グループの成長を加速させる
■ 中東情勢の緊迫化を受け、空調機器の製造に使用する原材料の一部が入手性悪化・価格上昇。販売価格への転嫁や、海外生産拠点を含めたサプライチェーンの見直しなどの対応を進める。なお現時点では、本件が業績見通しに与える影響は軽微にとどまる見込み

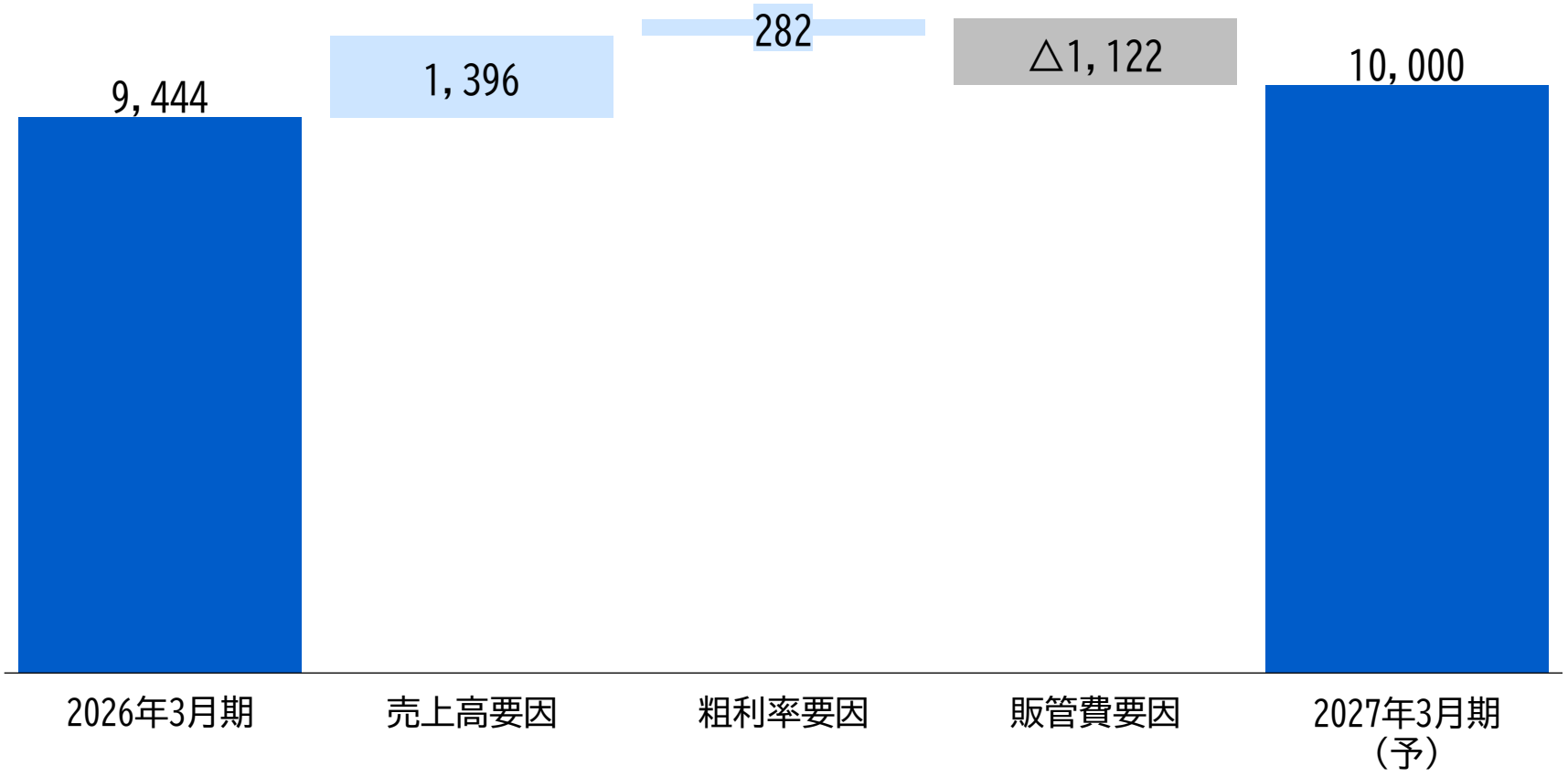

Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

# 営業利益増減要因

空気をデザインする会社
SINKO

■ 積極的な営業活動と受注獲得を通じ、2027年3月期は既存事業（空調機器販売）の売上増加・収益性改善に取り組む
■ 国内受注高は過去最高水準まで積み上がっており、通期計画に対しては十分な物量を確保。下期の生産・出荷ペースをコントロールして生産効率を高め、受注残消化による収益改善を進める
■ 販管費は依然として人件費や物流費などの増加が見込まれるが、引き続き価格転嫁によるコスト吸収に努める

（単位：百万円）





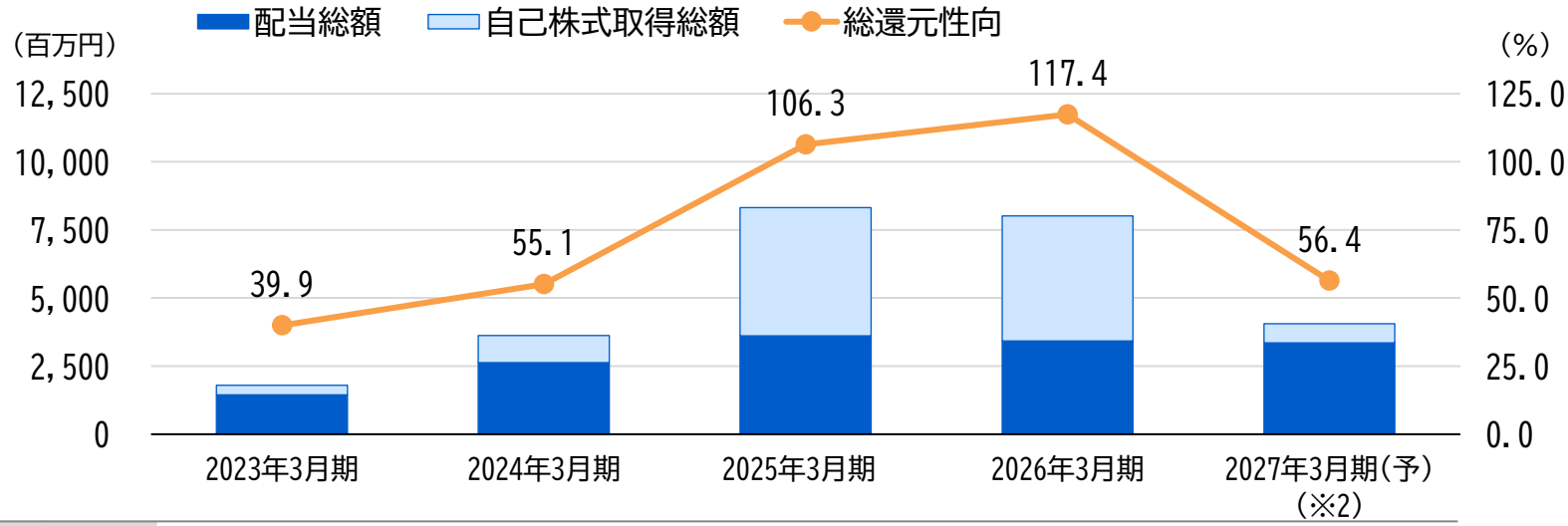
Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

# 株主還元（総還元性向の推移）

空気をデザインする会社
SINKO

■ 2027年3月期の1株当たり配当金は、中計の株主還元方針に基づき、中間20円、期末30円、合計50円を予定
■ 中計で掲げる上限100億円の自己株式取得のうち、2026年3月末までに93億円（BIP信託含まず）の取得を完了
■ 自己株式の取得予定額は残りわずかとなるが、2027年3月期は中計財務戦略に沿って株主還元と成長投資の両立を継続

## 総還元性向推移




| | | 2023年3月期 | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 2027年3月期(予)(※2) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1株当たり当期純利益 (※1) | (円) | 59.54 | 88.37 | 107.68 | 99.59 | 107.23 |
| 1株当たり年間配当金 (※1) | (円) | 19.00 | 35.00 | 50.00 | 50.00 | 50.00 |
| 配当性向 | (%) | 31.9 | 39.6 | 46.4 | 50.2 | 46.6 |
| 総還元性向 (※3) | (%) | 39.9 | 55.1 | 106.3 | 117.4 | 56.4 |

※1　2024年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、1株当たり当期純利益・1株当たり配当金は、当該分割後基準に換算
※2　2027年3月期の配当総額・配当性向・総還元性向は、2026年3月末時点での発行済株式数（自己株式除く）をもとに、予想どおりに配当を実施し、中期経営計画「move.2027」で掲げる自己株式取得（上限額100億円）のうち2026年3月31日までに未取得である約7億円全額を2027年3月期中に取得できた場合
※3　総還元性向には役員報酬BIP信託による自己株式の取得分を含まない


Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

# Appendix

# 業界構造



- オーナーである「施主」をトップに、設計・監理の専門家「設計事務所」、建物全体工事を束ねる「ゼネコン」、　設備工事を請ける「サブコン」がプレーヤーとなり、建設業界を構成
- 設備工事の中でも、設備の種類ごとにサブコンやメーカーは細分化。空調はその中の一つとして存在
- 空調設備は一次側の「熱源」と二次側の「空調」、および全体を監視・制御する「計装システム」で構成

施主

設計・監理　設計事務所

建築工事　ゼネコン(建築会社)：建物の詳細設計・施工

設備工事　サブコン(設備会社)：設備の詳細設計・施工

電気　衛生　空調　昇降機　その他

電気機器メーカー　衛生機器メーカー　納入　昇降機メーカー　その他機器メーカー

## 空調関連メーカー

### ＜一次側＞熱源

| 熱源機器 | 熱源補器 |
|---|---|
| ■ チラー | ■ 冷温水ポンプ |
| ■ ターボ冷凍機 | ■ 冷却塔 |
| ■ ボイラ | ■ 冷却水ポンプ |

### ＜二次側＞空調

| 空調機器 | ダクト | 配管系 |
|---|---|---|
| ■ AHU<br>■ FCU<br>SINKO | ■ 給排気ファン<br>■ フィルタ | ■ 二次側ポンプ |

### 計装システム

| BAS | フィールド機器 |
|---|---|
| ■ 中央監視<br>■ 集中管理・制御<br>■ 各種コントローラ | ■ バルブ<br>■ 各種センサ |


Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

# グループ事業別売上高

空気をデザインする会社
SINKO

■ 国内を基盤に、中国および台湾で生産・販売拠点を展開。海外市場では中国が最も多く、その他の地域では主に代理店を通じて展開

## 連結売上構成（2026年3月期：593億円）

### 空調機器製造・販売事業

- 新晃工業株式会社
- 日本ビー・エー・シー株式会社
- 上海新晃空調設備股份有限公司
- SINKO Air Conditioning (H.K.) Limited
- Taiwan SINKO Kogyo Co.,Ltd.

※他１社



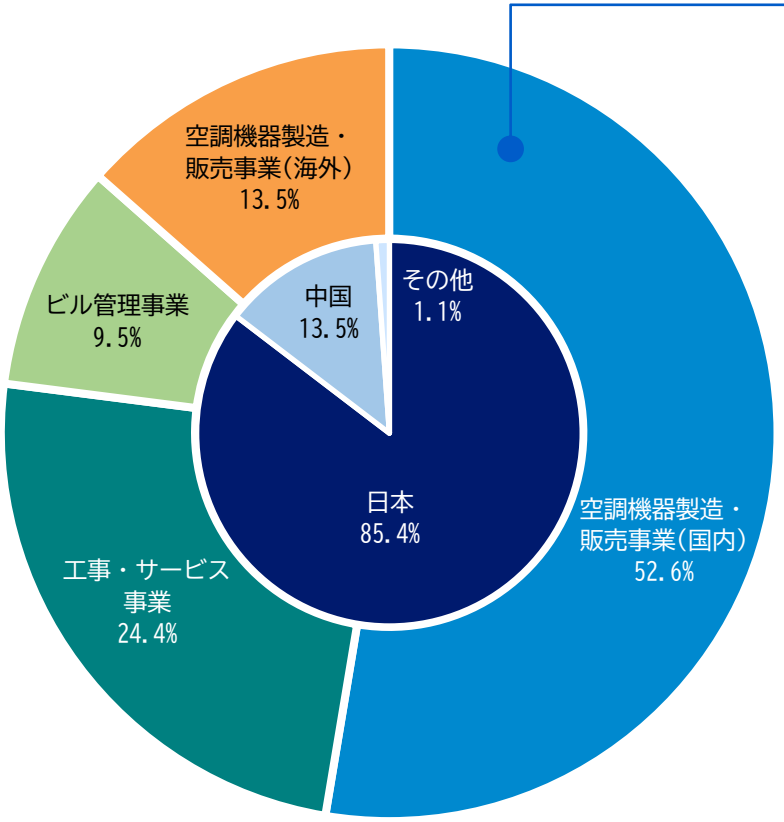
AHU / FCU / ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ空調機 / 冷却塔

### 工事・サービス事業

- 新晃アトモス株式会社

### ビル管理事業

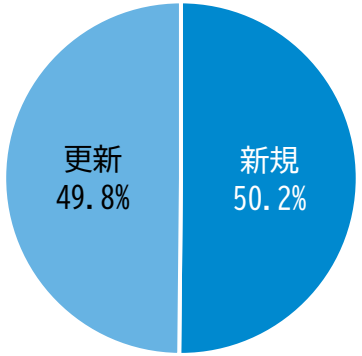
- 千代田ビル管財株式会社



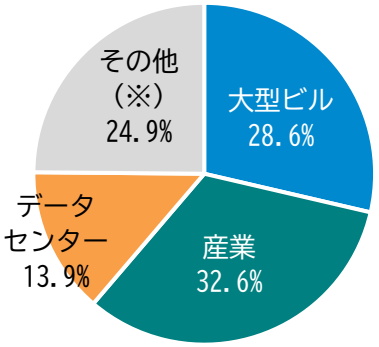

※外円の売上高は事業の種類別と販売元の所在地別に分類し、内円は顧客所在地にて分類
※円グラフ中の構成比率は、端数処理のため、合計が必ずしも100%とならない

### 新晃工業単体 国内向け売上動向

新規・更新需要別




建築用途別




※その他の建築用途には医療福祉、文教、宿泊、駅･空港などを含む


Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

# 【トピックス】『統合報告書2026』の発行



- 資本市場に向けた当社グループの情報発信・ステークホルダーとの対話の充実を目的に、2024年より統合報告書を発行
- 2026年9月末に発行した最新版の『統合報告書2026』では、過去の中期経営計画から現中計「move.2027」までのつながりを明確化したほか、当社グループが注力する事業戦略や技術成長、グループ事業概況の内容を充実




**新晃工業株式会社『統合報告書2026』**

▼ 閲覧・ダウンロードはこちら ▼

https://www.sinko.co.jp/sustainability/integrated-report

※英語版・中国語版は、2026年12月下旬に
当社ホームページで公開予定




▲ 過去中計の実績・課題の振り返りと
現中計に至るつながりの明確化




▲ SINKOグループ 重点施策の特集
（DX推進・データセンター・個別空調）




▲ グループの成長を支える技術力強化




▲ 従業員座談会
（グループ連携による新たな価値創造への挑戦）


Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.

## IRに関するお問い合わせ先

新晃工業株式会社
経営企画室　経営企画部

Webサイト　https://www.sinko.co.jp/
お問い合わせ先　https://www.sinko.co.jp/contactus/form/

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。


Copyright(C) 2026 SINKO INDUSTRIES LTD. All rights reserved.